

備陽史探訪 No.3

1981年度「備陽史探訪の会」の活動

(神谷和孝)

「備陽史探訪の会」発足以来、初めての新年を迎えて、今年度第1回の例会が神谷宅で、1月15日に開かれました。

昨年は本会の発足を実現さし、会として、どのような活動をし、どのように会を発展させていくか、手さぐりの1年間でした。その1年間の活動を通して、会員の一人一人の気持ちの中に、会のあり方の理想や、今後の会の進むべき方向が描かれていたと思います。

今回の例会では、そのお互いの思いを出しあつて1981年度の会の具体的な活動内容を決定していく事になつていました。

約2時間の討議での内容を次にまとめてみました。この決められた内容に従つて、今年1年間、会員が活動を展開し、会の発展に努力していつてもらいたいと思います。

1. 年間目標

①会の充実をはかる

①他の歴史研究グループとの連携をはかる。たちまち神辺郷土史会と連絡をとり、その活動内容から学んでいこう。

②会員各自が自分の研究テーマを持ち(共同でもよい)、年度末には、その研究内容を持ち寄つて、冊子を作るなどして発表の場を持ち、互に研究を深めていこう。

③会員を増やそう。

昨年度は発足当時のメンバーに種本実氏の参加を見たが、今年度はもう少しPRを盛んに行なつて、会員を増やす事に努力する。

会員を増やすためには、会の充実が先決である事は言うまでもない事である。

④郷土の、たちまちは福山市の市民の、歴史に対する意識の向上に努力する。具体的には、市内の重要な歴史的遺構物への立て看板等の作製や、博物館誘致運動への参加等が考えられる。

2. 具体的な活動内容

①例会の運営

毎月第2週目の日曜日に例会を実施する事に定める。会員の都合によつては第3週の日曜日に移行する事もある。

尚、例会の運営については、7月まで、次の順番で責任を持つて例会の運営にあたる。

3月 神谷 ・ 4月 田口 ・ 5月 河村 ・ 6月 種本 ・
7月 吉田

②研修旅行の実行

今年度中に、歴史の研修を深め、会員相互の親睦を深める事を目的として、一泊旅行を行う。日時・場所等の具体的な内容については、会員の希望を最も重視する。尚、会費については、毎月例会時に、会計の方に2,000円づつ積み立てていく事にする。

③会誌「備陽史探訪」の発行

毎月1回、会誌の発行を行う。当分の間はタイプ印刷を、猪原氏の手をわずらわせて行う。原稿の内容は前月の例会の責任者の、例会の実施内容と感想を中心とする。

1月の例会での話し合いは以上の様な内容でした。

最後に、福山を中心とした地域の文化財の現状の把握とその保護のために、会員が連絡を密にして、頑張つていく事を確認して、解散しました。

郡山城探訪

吉田和隆

吉田町は、山陽と山陰を結ぶ交通路の、ほぼ中間に位置する、山間の狭い盆地にある。郡山城は、町の北の山上に在り、本丸以下の主要な郭を中心に、多数の郭が、放射状に広がる、規模の大きな城である。

本丸は、輝元の時三層の天守を置いたと伝えられる。しかし10m四方の狭い矩形の小郭であり、近世城郭の本丸のイメージからは遠い。天守に幾つかの矢倉と、多聞を連結させた、天守閣として在つたのだろう。

本丸の北面と西面は急ながけであり、東は二ノ丸、南は三ノ丸を見降ろす。この2つの郭は、整形された形状、充分な広さ、整つた石垣を持ち、近世の城の特徴を備えている。とは言え、石垣は江戸時代に破却され、今は草木生い茂

る、広い郭の所々に、崩れかけの石垣を見出すのみである。これ等は居住空間として十分な広さを時ち、又山は低く、街道に近い、便の良い地に在る事から、城主や家臣の、日常の生活の場であつたと想像される。

以上3つの郭の周囲にも、広い郭が幾つか取り巻いている。しかし、そこから更に、広大な郡山全山に、放射状に数十の郭が存在している。それらの幾つかを見る事ができたが、尾根を段状に削つて、多数の平地を置く、中世山城に独特の物である。地図を見ると、郡山城の郭は、中心部を除けば、皆この種の物のようにである。つまり城の中心部は近世の、周辺部は中世の、城郭の特徴を備えていると言える。これはこの城が、謙倉時代より、毛利氏の居城としてあり、近世初頭にも使用せられた為であろう。岐阜の稲葉山城、越後の春日山城近くには神辺城等が同じ性格の城と言える。いずれも古い歴史を持ち、近世初頭にも大名の本城として使われながら、やがて廃城となる。共通の歴史を持つているからである。その点で、これらの城と郡山城の形態を比較してみるのもおもしろいだろう。

(編集後記)

本会ではより良い活動をめざしております。どうかどしどし御意見、御希望をお寄せ下さい。又、会員募集中です。入会希望者は下記まで連絡下さい。

1982. 3. 6. 発行 備陽史探訪の会

CONFIDENTIAL 備陽史探訪の会 個人情報が含まれるため掲載できません。

